

項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-10-4
-----	------------------------	----	--------

事業名	障がい者の森林活動フィールド拡大事業		
事業費	460 千円	担当部局課	置賜総合支庁福祉課

## 1 目 的

- ① 気軽に外出する機会の少ない障がい者が、身近なところで気軽に森林体験活動を行うことができる環境の整備に取り組む。
- ② 障がい者が森林体験活動を行うことができる場所の見える化を図る。
- ③ 障がい者が森林体験活動を行うことができるように、地域の森林団体等と連携しやすい体制を整える。

## 2 事業概要

- ・ 森林ボランティア団体や関係機関による現地調査を行い、障がい者が森林体験活動ができる場所や施設(森林活動フィールド)の掘り起こしを行う。
- ・ これまでに現地調査及び森林活動を行った活動場所についてまとめた情報媒体(森林活動フィールドマップ)を作成し、情報の見える化と普及を図る。
- ・ 森林ボランティア等を対象に、森林環境において介助案内をスムーズに行うための研修を実施する。

## 3 成果と課題

### 【成果】

- ・ 置賜地域8市町それぞれにおいて、障がい者が森林体験活動ができる場所や施設(森林活動フィールド)の掘り起こしをした。
- ・ 現地調査及び森林活動を行った活動場所について、森林活動フィールドマップ「おきがるおきたま森めぐりマップ」を作成し情報の見える化とともに、障がい者福祉施設及び森林関係者等に配布し情報の普及を行った。
- ・ 森林ボランティア等を対象に、森林環境において介助案内をスムーズに行うための研修を実施した。

### 【課題と対応】

- ・ これまで青年期～壮年期の方を主として事業が実施されてきたが、児童や高齢者を含む幅広い年齢層の障がい者が、森林活動フィールドにおいて森林体験活動ができるか、楽しむことができるかの検証が必要である。
- ・ 障がい者が安全にかつスムーズに森林活動を行えるように、介助案内を行う森林ボランティア等への研修を継続して行う必要がある。

⇒平成27年度新規事業「みんな一緒に森林活動フィールド振興事業(置賜)」の実施

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成26年度障がい者の森林活動フィールド拡大事業の取組事例】

### 1 フィージビリティ（実現可能性）調査

9/26 健康の森横根（小国町）及び 蛭沢湖（高島町）



### 2 介助案内研修

6/20 県立総合コロニー希望が丘 及び 下小松古墳群



### 3 パンフレット作成

検討会議は10/30及び12/24に実施。障がい及び森林関係団体へ配布。



項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-10-5
-----	------------------------	----	--------

事業名	おきたま森林・自然環境学習推進事業		
事業費	513 千円	担当部局課	置賜総合支庁 森林整備課

### 1 目 的

- ・ 源流の森における森づくり活動などの支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）の養成。
- ・ 企業や団体及び一般県民が気軽に参加できる森づくりを推進するため、源流の森内における森づくり活動の条件整備。

### 2 事業概要

源流の森の新たな森づくり活動推進事業（継続）

#### ○ 源流の森「森の案内人」養成講座の開催。

- ・ 2日間の総合講座を1回（6月）、1日間の総合講座を2回（9月・10月）開催する。

場所： 山形県源流の森（飯豊町）

対象者： 森づくり活動などに興味があり、源流の森にてボランティア活動が可能な方。

養成講座終了後に「修了書」を交付するとともに、「源流の森案内人」への登録を依頼。登録者には、源流の森で開催される自然環境学習や森づくり活動のサポートなどで活躍していただく。

#### ○ 源流の森内の森林で、企業や団体、一般県民を対象とした植栽や刈払い、枝打ちなどの森づくり活動を実施するための条件整備と活動の支援や、源流の森の利用者の拡大を目的としたPR活動。

- ・ 植栽箇所の整備（地拵え）、造林鎌等の購入。

### 3 成果と課題

源流の森の新たな森づくり活動推進事業

- ・ 「森の案内人」養成講座については総合講座と専門講座の実施により18名の案内人が誕生
- ・ 源流の森の約180haの県有森林の有効活用
- 森林自然学習、森づくり活動へのサポート体制の充実
- 一般県民が気軽に参加できる森づくり活動を継続的に実施
- 絆の森等の参加人数が多い森づくり活動への道具の購入
- やまがた絆の森協定後の森づくりや企業の森づくり活動等源流の森の活用に向けてのPRの推進

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成26年度おきたま森林・自然環境学習推進事業の取組事例】

### 源流の森の新たな森づくり活動推進事業

飯豊町 源流の森



源流の森での森づくり活動などの支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）を養成するため、2日間の総合講座、1日間の2回の専門講座を開催。自然環境への理解や、ネイチャーゲーム、野外活動における救急処置法などを学んだ。

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-10-6
事業名	出羽庄内公益の森づくり事業		
事業費	538千円	担当部局課	庄内総合支庁森林整備課

### 1 目的

庄内砂丘の海岸林は、厳しい自然との共生の中で培ってきた大いなる遺産であるが、現在、手入れ不足や伝染病である松くい虫被害、さらには、ナラ枯れの脅威にさらされている。この海岸林を、多様な主体の協働により保全し、後世に引き継ぐことを目的とし、下記の活動を実施した。

- ① 多様な主体の協働による海岸林の整備
- ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

### 2 事業概要

#### ① 多様な主体の協働による海岸林の整備

・出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催…計画3回、実績3回

行政団体、教育機関、林業関係団体、住民団体等の多様な主体の協働による砂丘林の保全活動のための情報交換の場として開催している。

その下部組織である「計画見直し検討チーム」において、庄内海岸林を整備する際の指針となっている「松原再生計画」の見直し作業を行っており、今年度は「生態系・生態系の保全」の項目を計画中に盛り込むべく第2回考える会において山大的林田光祐教授を招いて庄内海岸林における貴重な植生での現地検討会を開催した。

#### ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

・森林ボランティア活動の支援…計画20回、実績24回

光ヶ丘森林整備ボランティア、砂防林を育てよう森林整備ボランティア等の活動の企画・運営を行うとともに、JTの森鶴岡、ホンダカーズ山形 環境創造プロジェクト等大規模ボランティア事業に対する活動の指導と機材の貸し出し等の支援を行った。

・ボランティアリーダーの育成…計画1回、実績1回

森林ボランティア活動における指導的人材の養成研修として、今年度は「伐採作業、搬出作業における安全管理と林業機械の手入れ」と題して安全管理講習とチェーンソーの目立て作業の実習による「森林ボランティアリーダー研修」を開催した。

・森林環境教育の支援…計画35回、実績40回

「地域ふれあい講座」等による海岸林の普及啓発、学習活動の支援として、保育園から大学にいたる各種学校等からの要請を受けて「庄内砂丘林について」等の講話による座学や、枝打ち刈払い等実地での森林整備作業に対する指導、ネイチャーゲーム等による森林環境教育等を行った。

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- 「公益の森づくりを考える会」を開催し、多様な団体・機関等によるネットワークを形成した。
- 森林ボランティア活動の支援等により、地域住民等が森づくり活動に参加できる機会を提供し、住民参加の森づくり運動を推進した。

#### 【課題・対応】

- 多様な主体の協働による海岸林の保全活動を促進するため、ボランティアリーダーの育成と活用を図る。
- 地域住民等と連携した森林環境教育の推進及び地域に根ざした保全活動の展開のため、庄内総合支庁「地域ふれあい講座」等の活用により海岸林の重要性について一層の普及啓発を図る。

## やまがた緑県民税を活用した取組み 【平成26年度出羽庄内公益の森づくり事業の取組み事例】

### ① 多様な主体の協働による海岸林の整備

【出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催】 計画3回、実績3回  
多様な主体の協働による海岸林の保全のための情報交換



### ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

【森林ボランティア活動の支援】 計画20回、実績24回  
ボランティア活動の企画・運営、機材の貸出、現地指導等の実施



【森林環境教育の支援】 計画35回、実績40回  
海岸林に関する講話、森林整備体験活動の指導等の実施

